

昭和24年 野田高梧日記

- 表紙 焦げ茶 紙 表 SAKURA FILM と刻印。

裏 小西六寫眞工業マークと「1949」の刻印。

縦 110ミリ 横 78ミリ 厚さ 9ミリ

- 扉見開きに「小西六寫眞工業株式会社」本社および支社情報が印字され、次ページに昭和24年および25年「七曜表」と続く。

末尾に「住所録」4ページと、「寫眞家必携」35ページあり。その後に白紙「Memo」欄。

- 本文冒頭に「一月」から翌「昭和二十五年二月」までの「豫記欄」あり。
- なお記述中、『晩春』に関する部分の強調のため、その部分を太字にした。
- 野田の手帳は、細かい字の上、鉛筆書きで、文中、どうしても判読できない文字に関して□□で表現した。

- 誤記と思われる部分には「ママ」とルビを振った。

- 繰り返し記号「く」を野田は、横書きであるにもかかわらず、しばしば使っているので、随所に出るそれをこの稿においても「く」と表記した。

(例:いろくあるが、)

- なお、文中の赤丸●は原文にあるものである。

それはすべて『晩春』に関わる記事に付けられていて、野田自身が付けたものか、後年（1969年）、フィルムセンターで行われた『脚本家・野田高梧をしのぶ』の折に、企画サイドの誰かが付けたものかは不明。

- 横罫 ゼラ紙 見開き一週間分（〔日〕SUN～〔土〕SAT）。最終マスは空白「MEMO」。
- 奥付なし。

〔以下、日記本文〕

1月

1日

夜、□原氏へ高橋、□□両氏と共に招かれる

2日

中村君より、「八雲」並びに原稿受取て午後脚本部一同来訪、牛肉1.3貫、酒三升。

3日

荒田中村両君泊り、今朝帰る。放送局浜□氏より来信、改めて通知来る筈。

4日

5日

中村登君「野球」原稿並びに「八雲」届□□□□□より、打合せ上京。製作本部にて会ひ、原生館にて須佐君と同席、あらましのコンストを立てる

6日

日大 内田精一氏来訪、シナリオ十八篇受取る

7日

撮影□今日開始、約束の「地球」6回は須佐君より□ら□

8日

「方法論」再版の通知。小川氏宅よりあり

MEMO

今年は近年になく暖かし。

9日

玲子同道、吉祥寺を訪ね一泊、留守に磯崎塩川□□の三君来訪の由「読売スポーツ」数冊、磯崎君より借りる

10日

12時、作家協会委員会に出る。大映永田氏を訪問の筈のところ取止め、□本、林弘□氏に挨拶。加賀四郎君より来信、今度シナリオ依頼は直接交渉にする旨。

11日

シナリオ方法論の正誤表を作る

●12日

出社、「地球」6回ゲラ受取る 小津君より広津和郎の「父と娘」の話あり、小説集を受取る

「野球」前金40000、
大□氏に靴を注文す。

13日

「逢びき」を□□に見る。

14日

玲子と上京、「三十四丁目の奇蹟」「蜂の巣の子供たち」「新妻会議」を見る。加賀四郎君と会ひ、「黒潮」の件、諒解。

15日

(十六日)

出社本部次長□谷辰雄氏に会ひ「女の日記」林芙美子、佐々木康君演出のシナリオを依頼される。中村登君と「野球殺人事件」のあけみ殺人の件相談。

16日

(十五日)

「野球殺人事件」原作60分、抜書を作る件 後出社、明日CIE三時)

17日

十時半上京朝日ホールに「XIVオリンピック」テクニカラーを見、途中退場、製作本部にて須佐君とあひ、三時CIEにゆく中村君同道、疑義以外、文句なし、小松君より「女の日記」梗概11日却下の由聞く。原本借りる。

18日

朝、銀座フォックスにて中村君と会ひ、打合せる。近日警視庁後楽園見学のつもり

19日

須佐君の電報「二〇ヒニジケイシチヨウニユク上ルオオフナ」。

「方法論」原稿材料調べる

20日

11.35出社、須佐中村両君と警視庁にゆく。捜査課長不在四時まで待ち、□□□会へず帰る。途中尾張町にて佐々木康君とあふ。「女の日記」却下となれるも、ストーリーを再□□する筈の由。

21日

8.45上京—後楽園スタジアム見学、本部に立寄る。警視庁捜査第一課□崎課長

にあひ、第二係長金原定夫氏の案内にて鑑識課、写真室、調室等見学

22日

出社、小出プロデューサーより丹羽文雄の「□鮎」の話を聞く。中村君と打合せ、小津ちゃんと「父と娘」の件、月ヶ瀬でいろく語り合ふ。□村氏への献本、大原さんに頼む。10000二月分、20000本代、請求提出。大黒君より□□□□

23日

おばあちやんとケイ子来る。今日は衆院選挙日。夕方、大原さん来訪、塩せんべい、石ケンなどもらふ。大豆、原稿執筆、おばあちやん泊る

24日

おばあちやんとケイ子 海行き鎌倉山へもゆきし由。

「方法論」再版の□熱弁、大黒君夕刻来訪、シナリオ募集顧問を頼まれる。おばあちやんとケイ子今夜も泊る。選挙、共産党進出35。

25日

鎌大出講、映画世界社の件、作協古川君に手紙で連絡する。

26日

初めて今日は曇り、寒冷、床屋へもゆく。方法論を書く、書けず、胃久し痛む

27日

「野球殺人事件」原作整理。全篇の要点を書き□る。胃の具合、今日はよし。

28日

須佐君の助手木村君、廿九日野球連盟の人の□□を知らせに来て、原稿を持つてゆく、すぐあと須佐君より電話あり、三十一日になりし由、ユンス本文、ハダカの町

のコント^{ママ}ストを作る、二時になる、シナリオ社、吉祥寺に□□ゆきし由。

29日

朝久雄君「女王」といふ新雑誌の原稿依頼に来る。時日なく断る。鷺尾三郎君シナリオを持つてくる。□□。「野球事件」セリフを原作から抜く

30日

朝鷺尾さんマージャンを借りに来訪

須佐君より原稿返る。野球□□との会見、一日の4.30本部へゆくことになる
夜コンスト、玲子、よきヒントあり。

31日

□□さんを大船に尋ね、警察にゆき渡部、眞庭両刑事よりいろく聞き、参考書など
借り、後出社、中村須佐両君と明日の件打合せ、□□武井両君と支那そばなど食べて
帰る。夜、参考書を読む

2月

1日

鎌大休講、午後上京、作協に寄り佐川君に置手紙、製作本部にゆき、須佐中村両君
とあひ、同所にて野球連盟の野口、小松両君と面談、了解を得、種々懇談、747、
新橋□、大船まで須佐君同車、駅より□□□で帰る200。

2日

昨夜五時まで寝つかれず、九時就床、仕事にかゝるとする処へ、山の□子さん来
訪、□□を持つて来てくれ「女王」の原稿、三月五日までと頼まれる。夕方帰る、
鎌大生横田君来る。夜、仕事。

3日

今年、昨夜になつて初めて小雨があつたが今朝は晴、大川君より来信、出版会十二日に決定の通知あり、恐縮す。午後、仕事、夜に□□野球雑誌より参考部分を抜粋、朝四時になる

4日

狩谷氏に「方法論」を送る。古川君来訪、十二日の出版記念会の件。映画世界社シナリオ募集の件、等報告さる。夜、仕事、能率よし、朝六時まで、夜、すしを取る

5日

玲子、会社へ先日請求の内、例月分10,000をとりにいく。十二時起床、仕事にかゝり、今夜は十二時に床に入る

6日

八時起床、仕事、午後磯崎君来る。配給酒を吞んで帰る。大船警察刑事へ借用の本を返す。

7日

玲子「小判鮫」を見にテアトル鎌倉にゆく。仕事をつづける。あんばあ、□□、来て□□になる

8日

鎌大出講、夜五時まで仕事。

9日

シナリオ社の恒ちやん来る。次の原稿25日ころまで。

10日

歯医者に行き、抜いてもらふ。玲子会社へ行き、20,000受取つてくる。内1400組合費を引かれる

初めて雪がふる。仕事順調。朝5時まで。

11日

12時起床、歯のあとがはれて、顔右半面がなんとなくはれて痛い、ダイヤジン、C注射。

12日

雨 四時東京會館別館にて「シナリオ方法論」出版記念會、（作協、松竹本部共同主催）、□□、琴の映画家村氏より、「長崎の鐘」□木氏より、「女の日記」□□氏より、いろく話あり、城戸、上森、□橋、狩谷氏等、□□、席上、家をくるといふ話。真偽は別として諸氏の厚意殊の外うれし、帰途、小川、三村、八木、山崎とバアへ寄り、終電

MEMO

佃君よりシナリオ清和会の話、五人ぐらみでしみりやりたい由、援助を頼まれる

13日

鈴木兵吾君来訪「夜の盛装」シナリオ完成の由、子供たちに玩具を贈る。鶴兄の野田俊□の未亡人来訪、若いのでおどろく。なかく苦勞勞もしたらしく、しつかりしてみて弁舌さわやかかなり。朝五時まで仕事。

14日

正午すぎ、毎日の白石氏来訪、サンデー毎日映画号（四月）のシナリオに就き相談さる。三月上旬、女優についての原稿4、5枚頼まれる。場合により新藤君の「愛妻物語」を推薦しておく。家の話、静子、あんばあに話す。大崑びの由。

15日

一日中、仕事にこもる。ヒロポン使用、高橋幸人君よりシナリオ二篇受取る 夜アドルム服用、きゝめおそし（割に進む）

16日

起きぬけ、あんばあ他人来訪、坪15000—20000の由。裏一間のばすこと□談、12時まで話す、しかし、寝つき悪く4時頃までボヤクする。

17日

朝から仕事、夜、出来た分から玲子に清書を頼む。快調なり。夕方、アドルムを買ひに陽子と出る。もう一日二日と思ふ。12時就床。

●18日

朝須佐君、来る。日森氏より「この子を残して」映画化に就き打合せたき旨の手紙、須佐君と同道、入社。小津君との次回作を決定。ロザリオの□、共同シナリオの件、日森氏、□□のこと承諾。小津君よりナスのオク漬もらふ。23日□□□の約束

19日

朝から仕事。片端より玲子に清書して貰ふ。
朝、四時、完了。244枚。

20日

玲子、シナリオを会社へ届けてくれ、新藤君の「愛妻物語」持参、坂本良明君の結婚に出席、ご馳走あり、早く就床。

21日

入社、新藤君と「愛妻物語」の話をし、日森氏とそれに就いて語る。「ロザリオ」

大庭君の由、小津君と二十五日□□の件打合せ。中村登君は二十五日朝十時、会社
であふことにする □代30000、毎月分10000大原さんに頼む

22日

鎌大出講、なんとなく疲れて晝寝。

夜、「縁談やつれ」など読む。

植木屋、□垣など直す。

●23日

朝、出社。中村、日森両氏と会ひ、小津君と毎日コンクール監督賞審査に出席、木
下君に決定、清水君特別賞 4.25新橋発、湯ヶ原行

●24日

湯ヶ原滞在、大体の方向決定

●25日

湯ヶ原滞在、午後小桜葉子母子、小津君を来訪。夜、□□警察が来るといふ噂。

●26日

12.09湯ヶ原発

、帰所、城戸さんアメリカ教育部の人を案内して来所、夜、肥後、□□の両君と小
津君と月ヶ瀬で会談、九時半頃、□□車で帰宅

27日

一日とろくする。午後大原さんより電話。中村君が待ってた由、明日出社すること
にする

六時半帰る。久しぶりで育村□雄氏にあふ。

6日

「野球殺人事件」のラストを訂正、午後出社、中村君に渡す
夜、木下君の「お嬢さん乾杯」の試写、後、歓談、10時ころ歩いて帰宅。

7日

朝から□□の雑誌の原稿執筆。

8日

鎌大、出講、試験問題を久保田氏へ頼む
帰つて原稿執筆、徹夜六時まで

9日

午後出社、玲子□□、原稿を久雄宅へ届け。
タバコ、ビスケット、シヤボンなど買つてくる。「野球殺人事件」コピーへ廻
る。夜、関、□□、青木□□、□村等の青年、卒業につき、招いてやる 30000
(先月21日頼んだ分、受け取る 改めて50000、頼む。(30000になる)

●10日

ひる出社、午後四時小津君と茅ヶ崎館へゆく。桜井君同道。雨の中を宿へつく 温
暖。足温かく、床に入つてすぐ暖まる

●11日

茅ヶ崎館、桜井君、クスリを持つて来てくれる
斎藤、竹本両君、夜来泊。
晴天、温暖、ストーリーのこり、トンくすすむ
チョコレート700

●12日

斎藤、鈴木両君、上京、コンストなかくむづかし、夜、二時まで雑談。

●13日

小津君、午後上京、令弟の漬物の話の由、ひとり残つて「細雪」下巻を読み、とろくする。□□□を求む、600、クラツカー、250。

小津君、帰らず

●14日

朝、池忠氏来る。小津君帰来、仕事の話いろくあり、夜、雑談二時になる。□□の話、篠田□郎吉田□の話、朝、雲、

●15日

朝 厚田氏来る。千枚漬。

夜コンストラクションにかゝる 京都の場面大体まとまる

雨、午後、晴れる。十一時までにして、明日かく。晝間、二三時間、夜二三時間の豫定にきめる

●16日

朝、やっぱりおそくなる。朝食後二時間、仕事、居酒屋、能楽堂、青年との関係の一部決定。

クツズミ (200) シヤボン (220)

17日

朝、池田三郎君、来る。そのあと玲子、来る。ベーコン (500) チョコレート、シヤボン、クツズミ、など持たせてやる。夜、斎藤、長瀬両君、来る。

18日

中山君、□□、山本君晝頃来茅、紅茶を贈られ、うまい

19日

30000頼む

脚本研究所入社者決定協議のため出社、馬場、山内、飯田無条件、他七名決定。田辺□次君のこと日森氏に話し履歴書、製図（沢村君持つて来てくれる）濱田君に渡す。30000受取り、20000、沢村君に頼む。奥宮君来訪。

MEMO

去年は三月十三日8.32大船発18.30京都着にて□□の仕事、津路陶山君同行。

廿四日朝10.02京都発帰宅

●20日

上京、職業野球フライヤーズ、ロビンス、8-2。太陽対南海10-2、荒田君昨夜より一緒、月ヶ瀬の弁当うまし。帰途、大船に寄り、8.30帰投、兵吾君、頑張つてゐる。

●21日

疲れてよく眠る。斎藤君、箱根へゆく。夕刻、小笠原氏夫妻素泊。一昨年になる協会より手紙、ハガキ返送

●22日

コンストラクション、よく運ぶ。中山君素泊。夜、原君素泊。兵吾氏よく頑張つてゐる

協会へ返信。（チョコレート、700）

●23日

原君の大船出社に□し、美術部浜田君に田辺□次君のこと依頼の手紙を出す。兵吾氏、徹夜で頑張る。この二三日大へん寒い。人物の名前をきめる。

●24日

兵吾君脱稿上京。朝、桜井君来訪。斎藤、中山両君と□□げる。朝寒冷、後温かくなる。佐々木康氏来訪、倉長青年鎌大入学のため紹介状を書く。煙草を贈らる

●25日

小津君税金のことで大船へ行くに就き、小笠原君同道、三人で海岸から駅へゆく。玲子、入れちがひになり、駅で待ち合はせて一緒に大船まで行く。チョコレートを持たせてやる。ジワリを持つてくる。池忠氏の母堂、庭を歩くくらゐになられし由、月ヶ瀬で食事して帰る。田辺氏のことを重ねて確認

●26日

ファーストシーンからのツナガリ、うまく工夫つかず、初めてつかえる。今日は池渡氏水町氏来訪の旨、夜八時飯田氏も同道で出現、懐旧談等にて四時になる。肥後氏、山クジラの話「猪食つた□び」は「猪食つて温い」なりとの説。

MEMO

チョコレート750、ベーコン②、1000。タバコ⑤750、シヤボン220。(26日)

27日

肥後氏早朝出勤、飯田、水町氏夜まで滞留、小笠原氏の友人小川新吉氏来訪、等々にて今日は一日全然仕事にならず、水町君だけ泊り、飯田氏は十時頃帰つてゆく雨、つなぎの工夫、出来る。

28日 今日からシナリオにかゝる。まづセリフを整理する。山本氏来る。夕刻、

山本青枕氏、塚本両□□氏来る。まづ、ストーリーを話し、梗概の執筆をたのむ、夜、俳談、盛んなり。

29日

百科事典を借りに桜井君を訪れる。池忠氏来、会、扁桃腺の由、夜一時まで書く。チヨコレート□600、青枕、両□□両君、夕刻シノプシス執筆。小笠原氏、帰らず。

30日

好調に進む。青枕両□□両氏夕刻帰る。夜、□藤、長瀬の両君□□、小笠原氏、今日も帰らず。（日本活動写真の元祖、稲畑勝太郎宛、八十歳□かにて逝去の記事あり。）□題「晩春」

31日

山本武一君来訪。斎藤長瀬両君、出社。仕事順調、今日までに六シーン。夕刻、海岸セツト町の方を散歩、心気爽快。小笠原氏、夜、帰宿、十二時より四時まで頑張る。快調。斎藤、鈴木両君来宿

4月

1日

ひる、玲子陽子来る。アンコー鍋を食ふ。兵吾氏直しの仕事。夜、困難の筈の海岸の場面、案外スラくと運ぶ。明日に備へ、十二時就床。

2日

朝、十時出発、染井能楽堂に行く。「安女」(万三郎、野島)野守(梅若新太郎)帰途、月ヶ瀬に寄り、小笠原斎藤両氏と同道で帰る。今日は小津君のお父さんの命日の由。能楽堂で、妹さんに会ふ。

3日

熟睡、今日からサンマータイムになる。斎藤君、出社、小笠原夫妻、ライスカレーを作る。夜、斎藤君、お菓子を買つて帰る。今日はシナリオなか／＼困難なり。

チヨコレート200 タバコ1500、シヤボン200

4日

円覚寺茶会参観のため十一時出発、濱田氏に会い、同氏、田辺市の件頼む。茶会で松沢氏に会ふ。一旦、月ヶ瀬に帰り、夜、帰宿、50000大原さんに頼む。洗濯シヤボン300。斎藤君今朝新宿に帰る。

5日

好調、十一場面。久保氏より山本氏を通じ、□□氏との会談十五日過ぎにといふ話、昨日あり。

梅、ポツ／＼咲き始める、暖かし。二時半まで。

6日

好調、□□、夜、小笠原氏の部屋を訪問。一時まで仕事。

イギリスの紅茶700

7日

晝からぶつ／＼通し六時まで仕事、難関にぶつかり、切りぬける。風のため風呂なし、夜は好調。今日三場面、十二時就床、アドルム。今日、玲子来る筈なりしも来らず。(シヤボン200、クラッカー250)

8日

好天気「松の芽はすく／＼と□は見えねども」の感あり。玲子、今日も来ず、二時ころ、月ヶ瀬のマス子嬢、カツレツ、お菓子など持つてくる。送りながら散歩、モヤシを買つて帰る。夜、疲れて眠り、十一時から三時までつづける、十七場面出来る。

9日

十時起床、玲子今日も来ず、風でも引いたかと思ふ。

仕事順調。夜、小桜葉子母子遊びに来る。月よし。

10日

仕事順調、山本武一君来る。シヤケを持つてくる。夕方、斎藤、長瀬、中山君、来る。玲子、今日も来らず。

11日

小津君、監督会で上京。今までのところ清書七十枚、玲子から電信、陽子試験準備の由。中山、長瀬両君出社、風雨激し、十時すぎ小津君帰つてくる。胃、少し痛む
チヨコレート700 タバコ1500。

12日

お晝前、玲子来る。陽子、いよくヨコハマのYWC Aに行くことになりし由。静子、宮口夫人の市議応援の由、今のところ十六日ぐらゐには出来るつもり。小梅よりオハギ来る。夜、眠られず。

10000玲子に渡す。

13日

好調、いよく京都の場面にかゝる。雨。全体として、最初の計画よりも遥かに崑劇的になる。

このごろ、顔つき悪く、今日も思はしからず、ミルク350。会社大へん金がなき由。

14日

天気よし、晝、第一生命の勧誘員知森明といふ人来て契約をすゝめる。新藤君の紹介の由、35000円で500000円の掛金を大体約束する。午前中、やる池忠氏夕方来

訪、明日大庭組試写の由、夜やる。

15日

午前やり。三時□十五分にて入社、四時半よりの大庭組の試写「美しき罰」を見る。三島雅夫を見るためなり、作品は低劣。月ヶ瀬で夕食、海岸へ出て小笠原氏も一緒に帰る。中山君が来てゐる。

16日

床屋来り、一同理髪。夜、中山、鈴木、陶山君来る。麻雀に引っ張られ400勝つ、親が負ける。アドルノを呑む

17日

玲子陽子来る 津路君来る。茅ヶ崎へ□□た由。桜井池忠両君来る。桜井君より家のこと会社今日中に何とかする由 月森君の話。
いよく京都の場面のヤマにはいる。アドルムを呑む

18日

小津君監督協会のため上京。陶山君入社、久保さんより、佐々木隆祐君明日四時頃来訪の由電話あり、一日かゝつて今までの分清書する。小津君、十時頃帰宿。二時まで清書。

19日

四時頃久保さん来る。佐々木啓祐氏野村芳太郎君来訪、打合せ、夕食、久保さんだけ泊る。夜、小桜葉子、マス来訪。
シヤボン二つ440。

20日

小津君、□田氏の用で大船へ行く。その間に今までの分を清書する。181枚、久保

さん帰る、二十七日ころ京都へ行く口約。

21日

小川彩吉氏来訪、ノモンハンの話をきく。今日は一日休養、玲子より電話、今日帰るならバスが大□□行になつてゐる由なれど、二十四日ころ帰る旨返事する。小津君モヤシを買いに出る。晩モヤシと豚。

22日

昨日の雨に引代え晴天、蟻と昆虫とケンカさせる、山本君来訪、ナンバアを振つてもらふ、186枚、もうあと二場面。

23日

山本君滞在、ナンバアを振つてくれる。斎藤君仕事半ばで帰京、夜、山本武一君来る。小桜葉子も来る。もう一場面だけになる

MEMO

コンストラクション16日 シナリオ28日

●24日

今朝遂ひに完成211枚 103場面。両山本氏、会社へ持参、小津君と共に午後出社（茅ヶ崎館、引上げ）月森氏に面談、家のこと□□に就き話あり、月ヶ瀬で乾盃、小笠原氏と小津君再び茅ヶ崎へ。自分だけ十時十分帰る。

25日

安藤守、アンヂイ福原さん上京中、家の価格時價の半分の由、出社、小津君も出社月森氏脚本読了。京都の場面に母親のことを入れてはどうかといふ意見、再考することにする。家のこと40分。小切手をくれる由会計より30000受取り。京都行の□□。

26日

鎌大出講。12時玲子と大船駅であひ横浜に行き、陽子のタイプライターYWC Aにてあひ、陽子町でレインコート地を買ひ、□□館で「愛の調べ」を見、夕方帰る。探索にて食事出来ず。夜、選挙のことで宅本博さん夫妻来訪。

27日

一日中ゴロリと横になり、ウツラくと読書、「殺人鬼」読了。

28日

作家協会へ行き、四日の祝辞の件を頼み、新橋にて陽子玲子と落合ふ。途中、□、大黒両君に会ひ、原稿頼まれる。□軒にてカレーを食ひ、三朝に行き、コーモリ、ナベ、本など買ひ、登□代君の家に行き、夕刻帰鎌、市民座に「青春一座」を前半だけ見て帰る。

29日

アンバーアンダーと□と□の家を見、途中、平山家により、バスで逗子に行き□□茶屋の蒲田会に出る。五所、斎藤寅さんなども出席、全□百人を□す。五所小津、山田吉田君などと大船月ヶ瀬に戻り、五所君と一泊。

30日

朝湯に入り「晩春」のコピー出来る。三日本読みの由。俳優軍の野球を見る。夕刻帰宅、夜関原さんの立候補演説を聞きに行く。

5月

1日

雨、ノンちゃん来る。ひる、田辺俊次君来る。「晩春」のコピー訂正、入浴いゝ気持ちハナヂが出る。今日メーデーなり。

2日

十時半上京、作協に寄る。伊達里子と久しぶりに会ふ。本部で本読み、後、溝口氏に会ひ、原生館に、肥後、水町、飯田、古田君などと共に、自分も小津君と行き歓談、10.5にて帰宅。家の金まだ出来ず。

3日

朝、宮本博さん来訪。センキョの打合せ、トラちやん今日は亡母の忌日の由、セビロで墓参。ひる、玲子陽子と買物に出、ハカマの仕立屋を探す。わからず。シナリオ訂正。

4日

監督協会発令式の日なり。作協に寄り、古川氏と女事ム員の人と晝食。祝辞を作ってもらひ、毎日ホールに行き読む「大いなる幻影」を見、6時帰宅、すぐ市民座に行き「最良の年」を玲子と共に見る。

5日

久雄夫婦、子供づれで来る。晝すぎ、出社、小笠原氏月ヶ瀬にゐる。風強し、夜に入つて、小津君とシナリオの^{ママ}ライト、^{ママ}母親、嘘、久□さんの件等、四ヶ所追加、切除、二時までに出来る。

6日

十時起床。牛肉を食ふ。謡の長谷内先生、来る。スタッフ□等打合せ、8600000ぐらみの由、瑞穂氏の「花婿三段^{ママ}飛び」の試写を見る。なかくよし。

7日

染井の能楽堂に別会能を見に行く。原田、青枕、両□事、濱田、磯野、山本の諸君と小津君と自分、万三郎能 三五の仲光、萃雪の花筐、いづれも面白し、帰り銀座でソバを喰ふ。終バスに間に合ふ。磯崎君来てゐる

8日

磯崎君夫婦子供をつれて来る。塩川君も来る。磯崎君からシャツとモ>ヒキをもらふ。

9日

風邪を引いたらしく物の味苦し、マネージャーの田尻さん晝頃来る。つゞいて小津君原田君、青枕両□事の□□ハンティングに来る。一緒に出て西御門あたりを歩く。帰って床に就く 38度7分くらゐ。

10日

一日臥床、熱下らず、百鬼園など読む、今日宮本せつ子さんの立候補應援に出る筈、37度に下る。八時出席、定刻十分おくれて開会、九時20分閉会、満員。今日ハバカリの窓のアミを張り代える400円

11日

朝から映画世界の原稿をかく。三時脱稿13枚。幹哉君にたのみ、東京へ届けてもらふ。また百鬼園をよむ

12日

ひる頃出社、月森氏とあふ。コピー出来てゐる。家の金、廿日か廿一日頃の由、瑞穂氏の「花婿三段^{ママ}飛び」の試写、なかく面白し。

●13日

今日「晩春」検閲の筈のところ、ちよつと文句あるらしく山本君より電話あり、月曜に小津君と行くことになる（十四日、電話あり）

14日

朝平山君を訪問。宮本さんのこと投票たのむ、城見シナリオ志望の由。雨になる。

駒姉のところを訪ねる傘を借りて帰る。夜、油原さんの演説会ありしも行かず。

15日

朝、山本君来訪、ゆうべから極楽寺のパーティで泊ってゐた由、検閲の件いろく聞く。

午後早大。油井氏来訪、火曜日にしてもらふやう申入れる

16日

正午月ヶ瀬で小津君に会ひ上京、製作本部で山本君と一緒に三時CIE（服部六階）に行き、石川シヨージ、井上ケン氏スコットなどに会ひ、「晩春」許可、後、築地のオバチャンの家でビールをのみ、岸、林両君と東興園で会ひ、十一時帰宅

17日

朝九時出講 鎌大に行き、十二時半大船を出て江古田の日大へ行く。センキヨ、宮本夫人1044で最高点、油原さんも580ぐらゐで入選。八時半、へたくになつて帰る。入浴□□□甚し。

18日

出社、「忍術道中記」を見る。大へん面白くない。夜、宮本さんに招かれる 静子は□□□頃□□れる。歓談、十二時近くになる

19日

三時頃玲子と駅へ行き、四時、小津、笠、静雄君等とあひ、里見邸へ行き、後□風園に招かれ、歓談 志賀さんのプラトニックラヴの相手の人がゐる。十二時近くになり、小津笠両君歩いて帰る。

20日

雨、朝、油原氏の共同演説会の件で行く。誠意なし。面白からず、断つてしまふ、

出社、家の金明日の由、20000だけ受取る、明日アタリ、清水君と金城館であふ筈。

●21日

12時40分大船発、熱海へ行き、清水町に広津氏を訪ね、了解を得て、三時すぎ金城館に行く。夕刻清水君来訪（新ちやんといふ幼年同道）10時まで雑談 清水君多賀へ帰る。町を散歩に。12時就床

MEMO

21日、玲子、大船に行き、家の金200000の小切手を受取る。25日付なり。

22日

12時半、清水君と東宮駅で会い、三人で「□□」へ行く。広津氏の招待、志賀先生同席、梅原安井満、動物談など面白し。一緒に広津氏の宿まで帰り、我々のみ金城館に戻り、7時一分発、清水君と分れて帰る。青木さんある。

23日

□居未亡人を訪るため香奠1000。静子と同道市川へ行く。帰り、新橋のグリルで食事、終バスで帰る。□村君昨夜来訪48合の原稿をたのまれる。油原宮本両氏演説会の場所がむだになる。

24日

十時半上京、江古田の日大に行く。途中トンカツ屋で食事。□棒7000受取る。帰宅後、玲子と市民座にロビンソンの「赤い家」を見に行く。脚本演出、共に悪く、甚だ面白くなし。

25日

朝、鎌大に出講、帰途大船による。恰度「晩春」の本読みより出席。あと原節子、

笠智衆、宇佐美淳の諸君と小津君武市氏等と月ヶ瀬で雑談。

26日

今日は原稿を書くつもりのところ、ついに一日を読書に終つてしまふ。文藝□本、なかく面白し。油原、宮本両氏和解の件、青木さんが仲に入りしも、巧くゆかず。

27日

作協で倫理規定審議会あり、玲子と上京、松阪屋の安井曾太郎、梅原龍三郎展を見る。江軒でカレー、更科でザル。玲子とわかれて作協に出席、帰途、製作本部に寄り、桜井長セ両君と銀座を歩きトラ屋による。

28日

雑誌「松竹」の原稿「シナリオ修業26年」を書く。ひまくに□の花を植えるために土を掘る

29日

松竹の原稿を書きあげる

30日

鎌大出講、夜、出社、原稿、竹中氏に渡す。20000受取る。小津君今日は日□□ハンテングの由、月ヶ瀬による、雨になり傘をかりて、原生車で帰る。倫理規定の件、小津君に連絡する。

31日

日大出講、一日仕事になる。ビールうまし、入浴いゝ気持なり

6月

1日

倫理規定発委員会、連合会へ行く。協会により、□□、八木、古川両君と打合せ、今日再会のビールを呑みにジャンボーへ行き、帰りに帝大生元養生所の人にあひ駅前フタバにより、九時帰宅。

2日

玲子のオデオンへ「ミニバア夫人」を見にゆく。なかく面白し。リアルトで「南本珍道中」（Road to Rio）を見る□□なり、玲子気持悪くなる。六時頃帰宅

3日

48合の雑誌のため、棚田氏のシナリオの批評を告げるとなり、なかく告げず。

4日

一日中、「小諸なる古城のほとり」の批評の書き方に終始する。夜、油原氏宅転居披露 高橋氏転出送別のため油原氏宅に呼ばれる。それほど呑みもしないのに、気持悪くなる。

5日

朝起きてまだ気持悪し。アメちゃん、ノンちゃん、トラちゃん、□□さんなど来訪、□□さんに畳表20畳の申請を頼む、クツ屋白グツを持つてくる1500円。夜玲子と「カンサス騎兵隊」Sata Fe Trailを見に市民座へ行く

6日

鎌大出講、出社、小津組今日からロケーション、東慶寺の庭、スティルもとる。曇りのため思ふやうにとれなかつた由、バイヤーのためダンスパーティーの由、飯田、吉川女史等に会ふ、月森氏と同車、帰宅、家の金、月なかばの由

7日

日大出講、陽子に筆筒、歯ブラシを求め、ソバを喰ひ、お菓子を買つて帰る。やつぱり一日がかりはガツカリする。

8日

雨、**出社、30000頼む、小津君とシナリオ訂正。**城戸さんの追放解除嘆願の件、長津□君に頼む 小倉ボケ氏より、立野信之氏宵待草歌日記（夢路□）のシナリオを頼まれる。兎に角原作を借りてくる

9日

雨、43合の原稿を書かうと思ふが、棚田君のシナリオの欠点をあばくのも悪く、書き方に困る。

宵待草、つまらぬ原作なり

10日

今日は倫理規定委員会の日の予定なれども、通知来らず、上京「早おき船路」をスバル座で見、丸ビルで食事、ビヤホールで一杯やつて帰る。

●11日

出社、題名を小津君と相談する。古谷□人のクラブへ寄り、ビールをのむ 800。□□の長谷川雅山も来訪、「杜若」で梅若万三郎出演にきまる。

12日

原稿を書く。

13日

鎌大を休み、玲子陽子と上京、上野の博物館に法隆寺展と西洋文化史展を見にゆく。月曜日は休館でガツカリ、草だんごを土産にし、つまらなく帰宅

14日

倫理規定発表宣誓式のため、朝七時上京、九時開式、藝術家代表として宣誓文を読む。帰途、翌朝協会に、八木、三〇、古川君〇〇より、〇沢君と打合せ、〇〇〇座で「〇〇の都」を見て帰る。

15日

十二時出社、二時半発にて箱根に「新人能〇会」のため行く。桜川君も出席、桜井君だけ京都行のため欠席し、総勢25人、むしろ壯観なり。15000受取る。すぐ30000頼む。

16日

雨 麻〇組、チラシ〇等、四時半まで遊びバス貸切にて小田原へ、そして五時半発で帰る。2500円会費。

17日

玲子とオデオンへ「黄金」を見に行き、そのあと、グランドにて「女性NO.1」を見に廻り、夕方帰る。「黄金」は後半感心せず。

18日

出社、小津組、北川邸のセットを見る。題名まだ決定せず、いろいろ考へてもいゝもの出ず。

19日

トラちゃん、郵便箱を作つてくれる。なかく器用なり、市民座に「ドン底」と「せむしの小馬」を見に玲子と行く

20日

朝、鎌大出講、後、出社、小津組「北川邸」のセットを見る。恒さん明日出社の

由、久保さんより話あり、日大休講の旨電報す。税金のこと□□さん□税組合を作り、書類を出す。

21日

十時半出社、十二時小津組のラッシュ、「喫茶店」「庭」「小料理屋」を見る。よし。恒さんあひ、□□□□位に運ぶことを打合せる。久保さんとゆっくりやることを話す。大原さんより20000受取る。20000頼む

22日

新人六人に呼ばれ、□□さんと逗子の山内君の家に行く。ビール、その他いろいろご馳走あり、チーズ、と水瓜を持つてゆく。10.30終電で一週送つて来てくれる

23日

一日ぶらくする。雑誌、改造、その他いろいろ読む。面白いものなし。安藤氏宅へ行き、金のこと来月になる旨伝える。おすしの御馳走になる。

24日

シナリオ新人会の原稿、執筆。□□□書き上げる。トラチャン、郵便箱を作つてくれる

25日

出社、契約のこと月森氏に相談、大体200000のこと。小津組宿屋セット見学。□□君、本を借りに来る。衣服失、伝電□□□

26日

玲子と買物出。新川屋に行く。いろいろ買ふ。ユービン箱ペンキを塗り綺麗になる。

27日

鎌大、休講。小津組ラッシュの試写、（北川邸、原節子の顔黒し）月末第一期税金の件古屋さんと打合せ。明後日書類を出してくれることになる。小津君へ宿代を返す件、佐藤氏に頼む。

28日

上京、日大出講3000受取る。来月第一水曜に教授の招待ある由。

29日

午後出社、土屋さんに税のこと頼む150000にしておく。小津君と紀子の気持に就き打合せ。撮影、今日は電車の中、明日天気ならば鎌倉ロケの由。

30日

一時、作協

上京、□□座で「打撃王」を見、江軒で食事。作協委員会に出席、九日熱海フキ屋で□□のことを□□長瀬君と銀座を歩き、「思ひ出のタンゴ」の話など聞き、□□で喫茶。

7月

1日

出社、組合デーにて「ジャコ万と鉄」を見る。なかくよし。小津組、今日鎌倉ロケの筈なりしも、曇にて駄目なりし由

2日

鎌劇に陽子と行き「森の石松」を見る。吉村作品としては大分本格的になつてゐるが、この作品の性質から云つて却つて□□□のやうにも思はれる。

3日

今日、新入社の連中が来るかもわからない筈なりしもよらず、一日、雨がふる

4日

か大出講。今日で一学期を終る。出社、大原さんより一日に出た10000受取る。
小津組宿屋のラッシュを見る。家の金十日までに出る旨大石氏約束。

5日

日大出講のため8.31上京、人生座に於て「別れの□」を見、ソバを食ひ、後、江古田に行く。明日、懇親会の由。

6日

10.35発上京、日大に行く。招待と思ひのほか、教授会にて、お菓子だけ。時間に関する□□大学規定などに就き、延々四時間。がっかりする。陽子に□□□のブラウス他、自分の靴下など求めて帰る

7日

お駒姉のそこへ小麦を持つて玲子と行く。帰途テアトル銀座で「望みなきに非ず」を見る。演出、□□なり。

8日

出社、六日に出た10000、並びに家の金小切手200000（十一時□）受取る。第八ステージで小津組宿屋のラッシュを見る

9日

十二時作協協会、アタミフキ屋

18.15大船発で熱海路屋へ行く。作協会員集まる者22人、役員改選、依田君も来る。ライターを□□に盗まれる。小川、八木隆両君もある。

10日

依田君早朝帰京、一同晝食、5時の□車で帰る。津路君□□ 赤□場の写真もらふ。

11日

千代日記 □より20受取り6預け、安藤家へ11拂ひ、金□拂ひ込み、帰途、表具屋とトイ屋へ頼みに寄り、□□前で皿を買つてくる。290円

12日

カラカミ一枚230にて29枚、トヒは4500ぐらゐの見積り、頼む、トラちゃんサルズベリを手入れしてくれる。お駒姉さん来訪。

今日あたりから梅雨上った様子、暑さ甚し。夜おそく町の人たちお茶の相談になる

13日

朝トタン屋来る。樋を直す。玄関、洋間の□□の入口などのヒサシの樋を新設し、全体にコールタールを塗ることにする。

「歌日記」のストーリーを整理する。

14日

トタン屋今日も来る。夕方完成。一日中「歌日記」のストーリーを整理する。夜、玲子、油原さんの弁明懇談会に行く。市民館新館に就きデマが飛んだためなり。

15日

入社、毎月分40000を松竹「シナリオ修業26年」稿料。2500と映画春秋「晩春」掲載料7000受取る。月森氏に「宵待草」の件打合せる。

16日

五時、□大懇親会（円覚寺書院）

午前中、ヨコハマ日活に「哀愁」を見に行き、二時頃帰宅。夕刻まで午睡、五時鎌大懇親会にて円覚寺に行く。精進料理うまし、十時帰宅

17日

午前中「宵待草」のストーリーをまとめる。夕刻、一ちゃん来る。夜玲子と一ちゃんと三人で市民座に「凹凸空中の□」を見に行き西瓜を買って帰る。一ちゃん泊る

18日

CCDの□□氏来訪のため出社、□田君の見舞金500、部費100出す。セット（曾宮家□□）を見る。二十三日京都へ行く筈。

19日

上京、帝劇にジャンコクトオの「恐るべき親達」を見、玲子陽子と待ち合せ、三越、白木、高島屋を廻り、ズボン、レインコート、その他を買ひ、□□□□に磯崎塩川両君を訪ね、□□にてウナギを馳走になり、同車帰鎌、□□でクリームソーダを呑み、原生車で帰宅、ウナギ土産。

20日

上京、銀座三越にてズボン（□□□）大原□一の中□□□（920）を求め協会に出、加□にて委員会、桜川各上京出社、新□長□桜川の三君と軒一路にてビール、□□にてマンジュウをたべ、新□君と同車帰宅。

21日

出社、大原さんに中元を渡す。20000受取る。セット□□家階下。五時より長谷川雅山、□□両氏杜若、忠度、野守の仕舞を見る。先代梅若万三郎の「松風」のフィルムを見る。

22日

出社、明日京都へ出発のこと。渡辺君より□く。小倉君と「宵待草」打合せ。夜、陽子と市民座に「パーキントン夫人」を見に行きリントクで帰る。

23日

朝、八幡さまの行燈を描き、□□へ行く。四時出社、月ヶ瀬で間をもたせ、10.28大船発、京都行、車中、思ったよりラクなり、同行八名。

24日

8.30京都着。木屋町四條下ル松□□に入り、十時下加茂に行き、そのあとバスにて竜安寺石庭、清水寺ロケハン小津ちやん。青枕さん井上金太郎氏（竜安寺で会ふ）同道、夜、宿にて食事。寝る前弁慶楼に顔を出す。

25日

朝、小津ちやんたち日□寺ロケハン、自分、下加茂行、□川、宮田、橋田、□□君等に会ふ、間にバスで銀閣寺に行く。夜□川君に誘はれ、京極の新松といふ家に招かれる。その間に、弁慶楼の連中に病人続出する。大久保さん宿へ来る。

26日

九時出発、清水寺撮影、暑いこと限りなし。

朝日□□の見たあと、原稿を頼まれる。小津君昨夜より身体悪く、気の毒なり。今日、暑いこと限りなし。五時頃帰宿、大久保さん来る。瀧沢修氏三島氏を訪ねて来てゐる。坪内さん帰京

27日

朝、宇佐見君野球で東京、九時出発竜安寺撮影、天気悪くなく順調に行かず、中止。大久保さん宿に来る。夜溝口さん依田君来訪、井上さんも来る。十一時頃より依田君と祇園モロゾフロビーコンにてジンフィズ、祇園の甲乙を廻り、帰る。

28日

朝九時出発、竜安寺昨日のつづき、ひるまでに完了、帰宿、溝口、井上両氏来訪。小津君実写より帰宿一同下加茂植物園に大映とうちの野球、小津君のエラーで3点先取され九回で同点十一回まで□□同点。夜弁慶楼にて全員会食、帰宿スシを食ふ、今日で完了

29日

雨激しく颱風、鴨川見るく増水、宿の前の小屋壊れ、材木などがしきりに流れる晝、原田、□□、山内、宇佐見などの諸氏と牛肉スキヤキ。二時に井上金太郎氏来訪。自分四時土産買ひに出る。小津君に会ふ。8.20発にて一同帰京

30日

6.04大船着。六時半帰宅 戸が締まつてゐる。百合子。□□□□をつれて来てゐる。入浴後、眠る。午後も眠り、七時頃より静子玲子陽子、自分、幹哉君の五人、市民座「巴里祭」を見る。大三元でソバを喰ひ、帰る。

MEMO

朝日新聞に400字4枚「映画に於けるシナリオの位置」といふ^{ママ}やもの頼まれる

31日

八時出社、梅若万三郎一行の「杜若」プレレコ、午後ラッシュを見る。小倉君より「宵待草」の原稿受取る。10000（宿代の内）受取る。夕刻帰宅、丹羽の「落鮎」を借りてくる

8月

1日

朝、今までの新聞を読み、ひる婦人会の即売会に行きアンダーシャツなど買ふ。百合子たち海へ行き、留守に「落鮎」を読む。夜市民座に「乙女の星」を見に行く。

面白くなく、途中で出る。

2日

今日、染井の撮影の筈のところ、ヘントウセンが脹れたらしく、気分すぐれず、やめる。小川君より明日会ひたき旨電報あり。

3日

出社、「落鮎」「野良犬」見返す、「宵待草」の歌詞、小倉君から受取る。百合子たち、三時油壺に行き、帰宅、直ちに終バスで東京へ引上げてゆく。鎌倉滞在十日間。小川君の話は協会脱退のことと、雑誌のとなり。

4日

昨日会社から借りて来た舟橋の「鷺毛」と「□空のをんな」を読む。「鷺毛」は「落鮎」と同じやうに老人□の恋愛を書いたもの。大したものなし。

5日

一日中夢二物のストーリーを書く。ストーリーといふもの、どう書くのか、なかうまく書けず。夜、玲子、トラちやんと市民座に「大いなる幻影」を見に行く。西瓜を食ふ。

6日

9.20上京、ナンシーで作協委員会、雑誌の件、古川氏の件、決定、吉本□場で□木弘高氏に会ひ、「□□ルンバ」に就き懇談、原作を返す。後連合会に行き、協議会、ソバを食つて帰る。静子、玲子陽子、市民座。

MEMO

新藤君より服地11000のもある由話あり

7日

久雄夫婦、子供をつれてくる。タバコを持つて来て、チョコレートをもらふ。一日遊んでゆく。文化学院の有田氏、映画学校の件でくる。九日四時□□□五階で相談会の由。

8日

四時上京、雅叙園で永田雅一氏の渡米送別会に出席、帰途伊東□□君とストーリー集めの件で懇談、一ちやん家に行つて泊る。西瓜とノートブックを持つて行つてやる。

9日

目黒に一泊、玲子来て、自由ヶ丘南風座に行き「ママの憶ひ出」を見る。途中で出て五時帰宅 家では留守中、新藤君、服地と桃をもつて来てくれた由、夕刻、福屋さんタタミの見本を持つて来てくれる

10日

朝、宵待草のストーリーを玲子に清書してもらふ。新藤君の服地代を持つて出社。小津君、いろんなこと（デコの件、他社へ出る件、差別の件等々）で会社ともめてゐる。尤も千万なことなり、ラッシュを見る。お能なかくよし

11日

暑い。旬報に筈見氏が晩春のこと、いろく書いてゐる。見当ちがひ多し。湯ノ町エレジーを見に行つたところ、広告のまちがひで、やつてゐない。玲子陽子と共に、バカを見て帰ってくる。

12日

出社のつものところ、なんとなく身体だるく、やめて一日本など読んでぶらくしてゐる。夕刻鷲尾さん畳の見本を持つて来てくれる。頼む。

13日

朝、陽子と買物に出る。夕方、磯崎夫妻と子供塩川精氏を招く。磯崎君中野に転居につき送別のためなり。ビール一打ウィスキー半瓶あけて、十二時半頃散会

14日

朝恒吉君就職の件でやつてくる。方々へ頼みである由、履歴書をあづかつておく。

15日

出社、原節子、怪我にて今日撮影中止、肥後さん来る、お能の長谷川雅山先生来られ、月ヶ瀬で小宴、佐々木□□女史来る。三井、笠君など同席、十時帰る。10000大原さんから受取る。

16日

玲子の友達篠崎マサ子さん泳ぎに来る。陽子、トラちゃんなどを一緒に材木座に行つて泳ぐ。夕食後、篠崎さん帰る。なかくいゝ娘さんで、うちに息子でもあれば嫁にほしいやつだなどと話す。陽子ヘントウセン。

17日

畳二十枚、福屋さんから届く、夕方、鈴木中山両君、山田飯田馬場の三名をつれてくる。福屋さん来られシラップをもらふ。□□一杯、みんな十時ごろまで歓談、散会。

18日

一日家にて読書、文藝春秋の勝負師（坂口安吾）を読了。そのほか週刊朝日の増刊などを読む

19日

出社、茅ヶ崎のラッシュを見る。宵待草ストーリー返事まだわからず、中村君「野

球殺人事件」の前に加藤で一本撮ること諒解を得らる。小津君、このごろ会社ともめてゐる

20日

作協委員会にて上京、□車中にて食事。五時の電車で帰り、平林家に行く。平林氏の誕生日招待にて上田□谷両氏同席、謡など出てなかくいゝ会なり。溝口さんにあふ。

21日

久しぶりで雨がふるがすぐ晴れる。夕方、外人の自動車滑川に落ち、すぐクレーンのトラックが来て安々と引上げる。戦争に敗ける筈なり

22日

出社、大原さんより10000（宿代の内）を受取り、山本武一君を通じて小津君に渡す。□田、大原両氏と支那ソバを喰つて帰る。「宵待草」ストーリー細君が死ぬことにしてOK

23日

朝、沢村君京都から帰つたと「カマグロ」650持つて来てくれる。桜井君に頼んでおいたものなり、48合の原稿のためセミ・ドキュメンタリーの文献をよむ

24日

朝から48合の人間マーケットの批評をかく。3時ころ脱稿。出社するつもりのところ、疲れてやめる。

25日

出社、48合、作協の原稿をそれくゝ渡す。宵待草、細君の扱ひ方につき小倉君に話しておく。小津組ラッシュ、叔母の家、□□の家（上下）を見る。改造文藝を読

む 10000（毎日分）受取る

26日

八幡さまロケーション、玲子陽子たちも一緒に行つたところ、曇のため中止。駅の方を歩いて帰る。古本「社寺の庭園」を買つて帰る。夕方、夕立あり、久しぶりの雨で気持よし、朝夕、秋風。

27日

文藝春秋の芥川賞「確証」「本の話」文学界の「警視総監の笑ひ」など読む。夕方五時より市民座に「空手」の公開演武を見に行く。大塚といふ師範はなかくよし。夕方また夕立あり、いゝ気持ち。

28日

朝から宵待草のコントにかゝる。中程からはどうにかいゝが、前段の運びに工夫がつかない。午後、トラちゃんノンちゃん来る雑談になる。朝夕は秋らしい風の匂ひあれど、晝間は依然として暑し。

29日

倫理規定管理委員会のため上京、新橋まで青木□□君と同道、□□八木□、牛原両氏と製作本部により、映画学校の件相談、帰途、小松ストアにてシャボン入れなど求める。

30日

玲子と上京、品川からトレラーバスで三越に行き、武蔵野文化展に深大寺佛を見、白木屋ウラの□□□□でトンカツ食事、銀座へ出て陽子のスカート地を買ひ、作協に行く、玲子は日比谷劇場で映画を見る。「シナリオ」誌のこと討議。帰宅、野田□□女史玲子の縁談を持つて来てゐる。

31日

キティ颱風の予報あり、晝頃から風荒れる。夕刻電□□水道止る。陽子の教会の院長（フランス系カナダ人）の一行、暗い中に来訪。三十分ほどで辞去。暗くて□□なく早く床に入る。十時ころから幾分風雨静まる

9月

1日

昨夜の颱風は茅ヶ崎が中心の由、垣根二三間こわれ、四畳半の角の瓦、一枚おちる。午後、大船に行く。洋服屋が来る筈のところこず、服地を大□□君にあづけて帰る。「晩春」あと三四日の模様、大原さんから20000受取る

2日

大雨のため陽子おミサに行つたまゝなく帰つて来ず、やがてジープで送られてくる。「宵待草」の原稿苦作。

3日

出社洋服屋来り三笠の二階で寸法をとる6000位と云ふ。安すぎる。小津組ラッシュ、叔母の家、電車沿線、能舞台など見る。小津君の同□、九月十五日附で辞表を出すと云ふ□、十五日は城戸さんを囲んで湯河原行の日

●4日

今日はセット全部上る日、出社、アヤの應接室の場面で終り□□撮影後、総ラッシュを見る。おちついてみて、よし。あと第三ステージでビールの会。70本の由。あと月ヶ瀬で小津君と語り、リntaxで帰る。

5日

朝、坂口安吾の「スキヤキから一つの歴史が始まる」を読む。部会に就き出社、研

究室を持ち、みんな勉強するやう申し合せる、□□野坂両君と共に帰る。激励する。パン200買って帰る。好評

6日

颱風後、天気定まらなかつたところ、今日はよささうで静子、陽子、おばあちやんの山へ行く。三時帰宅。みんな留守で、おぢいさんと久雄とみただけの由。宵待草のファーストシーン、どうやら見当がつく。

7日

作協委員会のため十一時半上京、江軒休み更科でザルを食ふ。機関誌発行の件、事ム員交替（清島君紹介の石塚氏）の件等可決、小松でクツ下ドメを買つて帰る。早大の人来訪22日あたりに河竹氏にあふ件を約す、コンスト□と来る

8日

早朝六時陽子につれられてオミサに行き、□□で^マウン^マナソーセージを買つて帰る。コンスト前半まとまり、今日から書き出す。張り切って仕事にかゝる。夜、トラちやん玲子陽子、自分市民座に「大いなる遺産」を見、Bingoを見て帰る

9日

仕事をつづける。三シーン書くが、気に入らず、書き直す。

10日

仕事をつづける。熨子、タバコを二箱持つて来る。泊る。雨。

●11日

朝、から仕事をつづける 熨子、□□帰る、玲子のレインコートをやる。八時月ヶ瀬に行き、10時「晩春」試写、よろし。一時間四十分。月森、磯野氏等と白□車で帰る 二時になる

12日●

朝、九時五分で、陽子玲子と共に大船へ行く。10時試写、自分だけ残りシナリオ誌の割付け、月森氏と小津君の件□談、帰途、由比ヶ浜通りでメガネのツル、パイプを買って帰る

13日

仕事、わりにはかどる。しかし、このところずっと雑用あり、時間不足でのびるだらうと思ふ。

●14日

朝、仕事。今日は三時からペンクラブのための「晩春」試写。鷺尾さん市長夫妻も来る。黒□さん久米さん、永井小島氏等、まづ好評。

15日

午前中、仕事。2.04の列車で湯ヶ原へ行く。城戸さんを囲む会、肥後、小津、清水、自分、おくれて旬報の飯田、水町、久しぶりのことで歓談、時を知らず、水町、飯田、小津、肥後氏等とマージャンなどに加はり、二時になる。

16日

朝から好晴、今日引上げる筈の会が、グズくしてゐるうちに夕方になり、もう一夜といふことになる。よくも話が尽きないものと思ふ。夕方、一同で町を散歩、さすがに今夜は疲れて十一時ころ一同就床。

17日

朝、城戸さん帰京、晝、水町飯田氏帰京、夕刻清水肥後氏帰京、自分と小津君と残り、七時ころ月森氏一人で来る。大庭、原、□□等遠慮した由、置酒□談、小津君と月森氏の同人一應の諒解つく。久米さん来湯中。

18日

小津君月森氏よく眠る。マス子小津君に金を持つてくる。月森氏と自分、1.45で帰る。大船駅で月森氏にわかれて帰宅。名古屋の山村氏より上京宿泊のこと紹介あり。電報で断る

19日

中央社の人笠原君の紹介でくる。前金4000受取る。
朝、鎌大出講。六月分月給受取る。そのうちに二松学舎と併合、東京へ移転する由。夜「近代映画」の上原小論を書く。「文学全集」（石坂、阿部）「23年度小説集」を求める。テアトルで「グッドバイ」を見る。つまらぬこと限りなし。

20日

「百万人の映画知識」の原稿送ってくる。すぐ校正増補して返送する。トラちゃん就職のことで状況の由、ついでに近代映画社への原稿を届けてもらふ。夜、仕事。油原さんより「電話を買はないか」との話あり。

21日

脚本部研究会の日。欠席□木、中山、澤村、桜井の三君、京都からは永江君上京、発言多し。□□で食事して帰ると七時半。電話の費用その他で十万円、宵待草の中よりの支拂ひをたのむ。「晩春」入りよく今年度第四位といふところの由。

22日

家にこもつて仕事。今までのところを玲子に清書してもらふ。兎も角も一□まとまつた形になつてゐる。陽子、自発的に前歯を矯正すると云つてこのところ毎日歯医者へ通つてゐる。

23日

部屋の模様替。二畳を化粧室にし、三畳をひろく使ふことにする。仕事、今までの

ところ、清書して90枚、恰度半分より少し少いといふところ。

24日

玲子、山のおばあちゃんからの琴の大会の切符を、友村さんに届けるため吉祥寺に行き、それが文化学院の講習会に行き夕刻帰る。仕事、ハタとつかへて進まず、神経衰弱気味なり

25日

朝、陽子に誘はれ、玲子と三人で、また教会のミサに行く。今朝は日曜のため四五十人の盛会なり。小津君より茄子の糟漬の樽を届けらる。仕事、はかどらず。

26日

仕事、相変わらず開けず、油原さん、電話の届けを持つて来てくれる。印鑑届などまで、一さいやつてもらふ。中島さん横濱へ越すらしく、それで□ることになった由。

27日

玲子、吉祥寺へ水曜の□、斎藤君の□□を持つて行つてくれる。小津君よりの茄子を少しわける。仕事漸く道があいた形なり。夕刻玲子帰宅。すぐ市民座へ「卵の私」を見に行く。感心せず、帰宅、少々仕事。電話中島さんへ一万円渡す。

28日

「宵待草」今までのところを玲子に清書してもらふ。91枚になる。あと、どふにか見当ついて、進み始める。

29日

原組の助手加藤君、様子を聞きに来る。あと三四日の旨を告げる。その時の話に「晩春」東京地区は上乘の入りの由。但し□□はよくないとのこと、尤もなことと

思ふ。トラちゃん庭の芝を植え変つてくれる

30日

玲子、会社へ永沢君の□□、斎藤君の函を持つてゆき、先に会計に頼んでおいた1,000,000を催促、明日といふことで帰つてくる。カブキの株、忘れてみたところ、二十六日まで会社でやつてみた由、やめる。

10月

1日

玲子、今日も行つてくれる。組合デーにて晝まで故、いそいで行つたところ、今日なら□□小切手、明後日ならキャッシュの由で帰つてくる。相変らずの会社なり、電話調査まだ来らず。

2日

日大より試験答案送ってくる。天気よく、日向ぼっこをしながら考へる。

3日

鎌大出講、帰途鎌劇に「晩春」予告篇、「□□□□」後篇を見に行く。帰宅清水君来てゐる。玲子、会社に行き予定通り1,000,000受取ってくる。

4日

五時起床、すぐ仕事にかゝる。鎌劇今日から「晩春」にてトラちゃん見に行くこと云つてくる。ユリ子、レイコのキモノを売りに、□□、道夫君テニスのチケットをほしい由。買つてやる。ナゴヤの加藤より高島氏母子紹介、五郎へ□□をくれる。山内君原稿のことで寄つてくれる。

5日

朝から仕事、トラちゃんヨコスカに行つて「晩春」の評判を聞いたと云つて寄る。かういふのが普通の映画で、今までのやうなのは間違ひだと云つた由、今日ペラ六十枚ほど書き、ついに書き上げる。雨、玲子清書してくれる。199枚。

6日

朝、床屋に行く。雨。出社、小倉君「眞晝の円舞曲」検閲のため上京、脚本月森氏に渡す。俳優座の株（500）大原さんに頼む。夜、「シナリオ」の三村伸太郎氏□□の雑文を書く。名古屋の高島氏母子来る。加藤の紹介。

7日

早朝陽子とオミサに行く。帰りに「七彩の虹」のシナリオを読む。午後出社、月森氏まだ半分しか読んでみず、小津君上京の筈のところ、まだ来ず。

「晩春」事実本年度のトップの由、夜中央社の原稿を書く。

8日

中央社の原稿「シナリオ作家たらんとする人たちへ」を書きつづける。ペラ八十枚なり、午後、鎌劇に「晩春」を見、それから□□□□に「青い山脈」を見る。夜原稿を書く。

9日

朝から中央社の原稿を書き、玲子に清書を頼む。洋服屋十五日来訪の旨ハガキあり、夜、信子、バイオリンと共に来る。カマクラボリと売りこむためらしい、困つたものなり。

10日

今日、午後、中央社の原稿書き上る。静子陽子と鎌劇へ「晩春」を見に行く。夜、玲子と市民座へ「郷愁」を見に行く。雨にふられて七時に帰る。ノンちゃん来てみ

る。十時ころまで雑談、鎌大休む

11日

「□□物語」を読み、□□□を参考に作る。柴田夫人アンバーを訪ね、□□の証書を持つて来てくれる。

12日

朝玲子陽子とオミサに行く。陽子の洗礼記念日の由。

□□□□を調べる。お駒姉さん来訪、大井の地所450,000ぐらみで売れさうだとの話、家を買ふことを求める。中央社の久□氏原稿をとりにくる。4000受取る。アンバー来訪。証書受取る。茶碗をもらふ。七時玲子トラちやんと「ルミリオン」を見に行く感心せず。

13日

朝、音楽家伝記調べをつゞける。作家協会の石渡氏来訪。□□委員会、法人□□の件等々、晝飯後辞去。このところ□□する□大いにあり、晝屋来る。二十日頃に頼む。夜、澤村くん来訪、株のこと□□送別会のこと、「晩春」の話、十一時□になる。

14日

松竹の株、手続きのため出社、10000毎月分受取る。小津君と会ふ。新東宝より正式申込みありと聞いて、月森氏と懇談する由 プロデューサーは児井、肥後両氏の由。「宗方姉妹」の様子なり。月ヶ瀬で小酌。明日シールズ巨人戦を見に行く筈

15日

7時半出発、大船で小津君、□□豊両君と会ひ後楽園に行く。肥後白石両氏と会ひ雨中の野球戦を見る。幸ひにして雨やむ。13-4、帰途、小津肥後両氏と同行、東興園にて夕食、肥後氏より「宗方姉妹」脚本のこと頼む旨申立あり、十時帰る。

16日

玲子、山田のお祖母ちやんのおさらいの手伝ひ

朝、佐々木夫人、午前中に出社すべき旨連絡せに来てくれる。出社、桜木氏より、今晚の□□□□送別会に祝辞を述べること頼まれる。五時開会城戸さんの出席、あとダンスパーティあり、小津君など大分酩酊、十一時帰宅

17日

朝、□、自己嫌悪の気味、八時半上京、玲子とあひすバル座にてストラットン物語（甦へる熱球）を見、ソバを食つてわかれ作協に出社、倫理委員会辞任のこと、機関紙のことなど討論、五時の電車で帰る。

18日

朝、山内君来る。□君のために一本書くことになったと相談あり、十時半上京 日大出講、給料九月分受取る。六時半帰宅、林房雄氏の紹介にて□井、山本両君来る。会社の青枕君も来訪せる由。

19日

朝から「大作曲家物語」を読み、ストーリーのヒントを探す。思はしきものなし、夕刻散歩に出たところ、斉藤□太郎氏につかまり、駐在所の顔つなぎの地元連の会合によばれ、焼酎を吞まされる。いゝ巡査なり。六時すぎ帰る。

20日

今日も「大作曲家物語」を読む。銅□君来たり、樋の一部を直す。夕刻、山内君来る。「朗らかに歩め」と「非常線の女」とを参考にするやう話す。春琴抄のシナリオを読む。小川□□君のため「明眸禍」のコンストを書いてやる。

21日

主役を□□君にしようと考え。それでどうやら子供のころの話はまとまりさうな

り。雨。肌寒し。樋はどうやら、うまく通じたやうなり。玲子、駒叔母のところへ、家のこと知らせに行き一緒に行って見た由。床せまくて、どうもよくないらしい。

22日

朝からストウリイをまとめる。玲子、会社へ明日のバザーの切符と小津君への虫くだし持って上京、小林の子供たちと仔鹿物語を見に□□よし、小津君今朝野田へ帰つた由。駒姉来訪、家は一應やめることにする。

23日

□□□ナガシを直しに来る。協会石渡氏、倫理委員会のことで来訪。トシヨ来り玲子陽子とバザーへ行く。池忠夫人マサ子ちやんと来訪、電話により出社宵待草原君に決定、一二注文あり、夜福屋さん油を持つて来てくれる。玲子ダンス。

24日

ハマ屋に行く。

朝、鎌大出講。バスで月森氏と一緒にになる。帰路、ナガシのスノコを買つて帰る。七月分1000鎌大で受取る。驚くべき貧乏学校なり、午後、電話の架設場所を調べに来る、夜、鎌大の金でウナギを食ふ。陽子、□□大学の講□を聞きに行き、九時帰宅、トラちやん芝のことで来る。

25日

また雨。朝、下調べ。上京、日大出講。カキモチ、靴下などを買つて帰る。トラちやん来り、浄明寺より□をもらつてはどうかといふ話、万事まかせる。

26日

朝、洋服屋から□□持参、「宵待草」読み直し、午後出社。午後五時四十八分発、小倉、原の両君と清光園へ行く。新藤君と入れちがひになる。雨が降つてくる。打

金の一部。一時半まで雑談、大いに笑ふ。30,000受取る。

27日

雨、打合せ大体出来る。午後すしなど喰ふ。小倉君□□□の□□□□□□帳の話。いろは館小川□□郎の話など面白し。一日□□□□つづく。東京その他□□の横村□□□□はそれほどでもなし。

29日

今日から晴天つづきのやうな予報なれど、朝曇肌寒く、日光見ず、玲子とヨコハマ、マツカーサー劇場に「戦火のかなた」を見、□□座に「忘れられた子等」を見、ソバしるこなどを食べて帰る。昼□あと四畳半とエンガワのゴザだけ。

30日

朝曇。トラちやんお寺より薬をもらつて来てくれる。智□さんにつけ合ひ、あと□もらふことにする。夕刻、油原さんに井口氏の家のことを聞きに行き、澤村君に知らせる。熊谷久虎氏が買ひたいといふ由なり。

31日

午前、鎌大出講、午後出社、小津君に会ふ、五日小梅高峰秀子等と染井観能の予定、会社、研究会にて、□□□□□のストーリーなども出て、面白し。20000受取る。

たゝみ、出来上る。8740なり。

11月

1日

午前、十一時半上京、日大出講、教員資格審査申請を出す。三時講義をやめて、銀座に出、スエーターを探す。気に入ったものなし。塩センベイ、甘納豆などを求め

て帰る。

2日

朝から十二社の伊藤爺さん、柴つけに来てくれる。浄妙寺の□□さんに宝焼酎五本届け、爺さんにも一本やる。道夫百合子、晷をとりに来る。セーターを頼むと4000渡す。柴、半分出来る。美枝子の訪問着4000送る

3日

阪本夫人より毛糸3200を求む一日ちがひなり。午後、仕事にかゝる。柴枝付のため。伊藤爺さん早朝に来る。このためトラちやん手伝ひに来てくれる。仕事（直し）ファーストシーンの形漸く思ひつく。柴、まだ残る。トラちやん晝、晩食事を共にする。

4日

朝から仕事にかゝる。柴、あと少しといふ時、雨になる。訂正、思ったよりのび、とうく夜中一睡もせず、書きつづける。一部、夜おそく玲子に清書してもらふ。阪本夫人よりまた毛糸あり3200で兎に角買ふ。

5日

朝、八時書き終り、そのまゝ出発、原稿は玲子が届けてくれる。染井に「安宅」（万三郎）「鷺」「葵の上」を小津君、高峰秀子、小桜葉子母子と共に見る。あと銀座で支那料理。女たちとわかれて□□屋に□□、□□□、岸松雄氏等とあう。十時帰る。

6日

熟睡、午後出社、新藤君のラッシュを見。水町氏より□□の□にネビーカットをもらふ。肥後、□、林、水町の両氏と小津君の招待で、月ヶ瀬で食事、九時散会、大西さんと一緒になり、眼のことを聞く。

7日

鎌大休講、洋服屋今日あたり出来る筈の約束のところ来らず、午後、鎌劇に玲子と「眞昼の円舞曲」を見に行く。いさゝか、俳優たちの芝居に□倒されてる形あり、夜極楽寺に杉山□□など来て油原さんに請はれる。

8日

朝から「シナリオ」のためにメロドラマのことを書く。いろいろ調べると面白い。清水□氏より映画評論にシナリオライター月旦を書いてくれといふ手紙、来る。恒さんのストーリーもまとまらないのにと□□□□。

9日

朝、玲子、協会へ速達を出しに行つてくれる。午後出社小津君にあふ。原君来らず、毎月分と⑤大原さんに頼む。伏見君と共に帰る。

今朝、洋服を^{ママ}来てくる

10日

一日、ストーリーを考へる。夕刻、佐々木嬢、月森氏が待つてる由伝へて来てくれ、出社。442部隊の話なり。佐々木組のぼしてよき由。原君□□打合せ、訂正少々あり、牛肉を買つて帰る。442部隊のストーリーを読む。

11日

9.20で上京、池□一夫君と一緒にいる。本部から月森氏と本社へ行き、阪本氏にあひ、高村氏と共に打合せ、恒さんの方、渡辺氏のこと頼む。十二時半玲子新橋であひ、博物館に正倉院□□を見、松坂屋で大観六十年展を見て帰る。いづれも大したもの。

12日

9.05上京、雨中、文部省に行き、「夜の素顔」を見る。□□□審査員たることを

承認させられる。新宿までバスで行き、伊セ丹でカマボコ屋を見、買つて帰る。四時半になる。それから「宵待草」を訂正。玲子清書してくれる

13日

朝から「宵待草」を書く。玲子清書、午後キカク部ホヅミ氏来訪、山田耕作の「からたちの花」の脚本を書くことなり、同行出社、月森氏に断る。「宵待草」コピーに廻る。夜、映画評論のシナリオライター月旦を書きかける。

14日

朝鎌大出講 帰途玲子と駅前と一緒に、帰宅。シナリオライター月旦を書くため、八木君に就いての評論などを読み、書きはじめる。

15日

十一時上京、日大出講、池袋で甘納豆、スリッパなど買つて帰る。シナリオライター月旦を一気に書き進める。今日締切日なり。静子二三日前より咳激しく、注射。良好なるが如し。

16日

朝、映画人同盟の吉永女史来訪12月5日までにシナリオの書き方を20枚たのまれる（シネフロントのため）午後出社、小津肥後両氏にあひ、会社の態度に就き、一應話しておく、ネギマで一杯、駅までおくられ、九時半帰宅。

17日

「第442部隊」を読む。週刊朝日の小林氏来訪、高田保の「二つの椅子」に小津君と口話してくれとのこと。二十五日の由。静子と協力、庭のモミヂと榎の木を切る。さっぱりする。

18日

置炬燵を作る

小雨、寒し、静子と今日もまた庭のはづれの櫛を切る。「第442部隊」を読む。イタリーフランス戦線の話ばかりなり、夕刻、佐々木夫人、月森氏の使にて、明日会いたき旨を知らせに来てくれる。斉藤恒ちやん来る。明眸禍の筋を渡す。

19日

朝出社、月森氏と午後面会、小津君の新東宝の仕事。申込みありし由にて□□□□あり、自分としては小津君との仕事に関する限りやりたき旨を云ひ、□□を約し□□部隊の□□□を受取る。小津君まだ在船。その旨を告げる。今日、自分誕生日につき、□□の菓子、天正の牛肉を求めて帰る。

20日

寒い日なり。□さんより、編物の礼にお餅を一枚もらふ。もう一枚くれる由、クラタフミンズの「帰郷」を読む コンストラクションのないシナリオといふ気がする。餅を汁粉にする。昨日静子玲子陽子の三人で誕生祝ひにネクタイを買つてくれる、なかくよし。

21日

鎌大休講、第442部隊のこと調べる。大体のプランは原作通りとするにしても、処々、当時の日本の実情として合点の行かぬ部分を訂正することにする。出社、20,000受取る

22日

日大休講、第442部隊の仕事をつづける。夕刻、道夫君来る、音楽会の切符のためなり。玲子、町田へ行く。雨、また颱風が来るらしい様子なり。

23日

平林氏宅にて会合あり、宮本、新名、鈴木氏等他二名。雑談会なり、週刊朝日より対談会30日と電報あり、颱風が来るらしく、雨なり、今日油原節子さん東劇で踊る由でトラちゃん出かけてゆく

24日

颱風来らず、寒いこと厳冬の如し。玲子と「生さぬ仲」を見に行き、帰ると桑田氏レンラクに来てみてくれ三時間も待つてみた由、月森氏、プランを見たい由にて夜三時までかゝつて書く。朝日新聞の二つの椅子30日OK打電

25日

朝、桑田氏来たり、プラン渡す。十一時上京、一時本部にて吉村氏立会、桑田氏に会ひ、ストーリーを渡す。月森氏吉村氏はOK。銀ブラ、コブカツオのつくだにを買つて帰る。

26日

朝、シネフロントのためのシナリオの話を□書かける。十一時半ころより青木さんに静子と招待され、富田溪仙の俳画を見、□村晶子さんのこといろいろ話す。四時半帰宅、夜□□の先生高橋氏来る。□□の紹介なり。湿布をもらふ。

27日

朝出社、阪本氏□□来社、ストーリー大体OK。こまかな部分を打合せるため、□□に行き晝食、高村氏も同席、新東宝より再度自分のこと申込みありし由。木下氏の妹のシナリオを読んでくれと渡される。

28日

朝、机上の本を片付け、シネフロントの原稿を書く。洋服屋にオーバーの□□状を出す。床屋へ行く。陽子静子と例により口喧嘩、一日口をきかず。今日鎌大休講。

留守中オーバー出来てくる。

29日

日大出講、給料を受取る。豆餅を買つて帰る。

30日

出社、小松ちやん昨日出社、今日も来る由なれど来ず、3.50小津君と上京、東劇裏の黒田にて高田と「二つの椅子」の週刊朝日座談会、席上玲子の縁談あり、九時すぎ□□森女史の家に行き、肥後、林両氏と会ひ、終電で帰る。酔ふ。

12月

1日

二日酔の気味。一時すぎ出社、玲子同道、20,000受取る。3.47発、小津肥後両氏と湯ヶ原中西に行く。久米さん来湯中、おくれて□□□、安達、兒井両氏来訪、いろく雑談、今夜はビール少々だけ飲む

2日

朝、10.15上京、後楽園に東西対抗野球を見に行く。8：2にて東軍大勝、試合エキサイトせず、面白くなし。□□ちゃんに会ひ、□□を歩き西銀座の□川の□□に行く、筈見氏に会ふ、態度面白からず、小津君と同車、小林□□氏に会ふ

3日

雨、午後出社、□原さんに100,000頼んでおく。小松ちやん□□ちやんをつれて来訪。月ヶ瀬で小津ちやん古田君と共に歓談、このごろ□□路にオイハギが出た由につき、終バスで帰宅、第四四二部隊、小□プロ、木下君に内定の由。

4日

新東宝で宮城道雄傳をやる由久保氏より聞く。

出社、木下□□両氏と打合せ、やはり二世の気持の□で引つかゝる。月森氏に打合せ、兎に角大乘的見地に立つてやる以外ないと云ふことになり、高村氏帰京を待つて再度打合せることにする。月ヶ瀬でパンを買つて帰る。

5日

朝シネフロントの原稿17枚を書き、玲子清書してくれる。油原さん来訪、電話一旦不許可になりさう故、いろいろ奔走□調査してくれる由、午後市川技師、見に来てくれる。技師玲子の縁談を持つて来てくれる予定。

6日

日大休講、電話の件で油原さんを訪ねる。どうにか見込ありさうなり。午後小津ちやん来訪、□□へ散歩に行つた帰りの由、夕飯を共にし、終バスにおくれ。玲子と一緒に駅まで送る。月長し。電話許可になりし由、油原さん知らせてくれる。

7日

机に向ふ、いゝ運び浮ばず、ハワイのことなど調べる。夜、町内の集り、浄明寺会とすることになり申合せる□を相談する。昔のやうに簡単に行かず選挙にするにしてもなかく面倒なり。シネフロント原稿取りに来ず

8日

玲子とオデオン座へ「ニノチカ」を見に行く。前半ルビッチらしい面白さあり、二時半帰宅。寒さ厳しく、全くchillyといふ感じなり。帰つてからも身体が冷え切つたやうでコタツにあたつてウトくする。

9日

近代映画 12000来る。

やっと見当がつき□□す。電話の許可証来る。ユリ子パンをとりに来る。藝術新潮の菊池重三郎氏キヌヨのノンフィクションの原稿のことで来訪。事情やむを得ず断る。

10日

第四四二部隊のこと、並びに金を受取りに行きしも、税ム署の人が来てみるとかで、全然駄目、一日棒にふったやうなものなり、金は十二日の由。

11日

評論のシナリオライター月旦を書く。夕方「野良犬」を見に行く。立派な作品なれど、□□□□□□の気味あり、そのために長くなつてゐる部分を□□すれば一層よくなると思ふ。

12日

鎌大出講、給料七月分より出ず、一般の由 帰途出社、小津君昨日野田に帰り、脱稿次第連絡がほしいと申置ありし由、月森氏小津君より自分のこと正式に申込ありし旨報告あり、新潮社の向坂君来訪、キヌヨの原稿なれど断る。

13日

朝から四畳半にこもり、夜までに人物月旦を書き終る。四畳半なかくよし。玲子、清書してくれる。電話、正式の許可来る。保君に枝のこと頼みに行く。

14日

朝から今日も四畳半にこもり、442部隊をつづける。小雨なれども、火鉢をおき湯をわかしておくど、温かくてよろし。

15日

12時出社、20000受取り齊藤、中山、中村、鈴木の諸君と箱根清光園。作協総会

に行く、三十二人、久□君よくのむ。八木保、□、三村、小国等と同室、法人組織決定。なんとなく三時ころまで雑談。桜川君、今日出て来た由。

16日

朝役員改選、また会長になる。副会長八木、□□新藤、会計監査桜川桜井等々決定。おひる□□散、われわれは脚本部忘年会に切り替え、ストーリー集の人たち、京都の若手、飯田君なども来る、27人。小関さん泥酔、□、みっともない。今夜も五時。アドルムで眠る。

17日

朝、□□陽子より電話。途中で切れる。あとでトラちゃんより電話 新聞夜出る由。今日はまた、夕方月森、高村両氏来る由でもう一日のび、若い人たちだけ三時頃帰る。月森氏七時頃、高村氏本部の帰りで八時半ころくる。今日は十二時ころ就床

18日

朝、契約者だけ、高村月森両氏と懇談、大体の基本をきめる。よそへ書いてもいゝことになる。一時二十分、バスで小田原まで行き、帰る。新聞社の向坂氏再び来訪、キヌヨのこと□□□が承諾、そのため小林□□と自分に話をきゝたい由、近々座談をする由。

19日

朝から仕事にかゝる。小津君出社の由、電話あり、夕刻、静子トラちゃんと三人で「痴人の愛」を見に行く。兎に角木村恵吾の力作なり、鳥のスキヤキ、うまし。

20日

玲子と上京 トラヤのヨウカンを買い、魚河岸に行きカラスミを買ふ。共に電話のお礼として油原さん贈るもの。玲子とわかれ、新藤、長瀬、□島の諸君と著作権協

議会発会式に出席、後、銀座を歩いて七時帰宅、油原氏へ行く、小津君湯ヶ原より電話。

21日

一日家にみて仕事をする。

22日

庭の植換へをトラちゃんといとうの爺さんに頼み、新潮社のための絹代に就いての座談のため上京、スキヤ橋の井上で小林勇吉、久坂栄二郎の両君にあひ、七時半帰宅。その□、会社に出て土屋さんに税金のことを頼む

23日

朝上京、本社で阪本氏のアッセンによるイタリー戦線のニュースを見る、大へんよし。本部により、ウナドンを食べ、□□を□いて六時帰宅。木下君と同車する。改めて明後日木下君と相談することにする

24日

朝、沢村君来訪、ケイヤクのことを話す。午後「破れ太鼓」を見にトラちゃんに行く。なかくうまい演出なり、夜、玲子ダンスのクリスマスパーティーに行き、十一時半帰宅、陽子と二人で教会のクリスマスミサに行く。□ミサなり、二時帰宅、オデンを食ふ。

25日

一昨日の約束にて、志保原に木下、水町、桑田の三君と会ひ、その前に小津君とあふ。新東宝より金が来た由、「第四四二部隊」はセミ・ドキュメンタリーにすることに高村、月森氏と話合ふ。帰宅バスで山内、馬場の両君にあひ、同道、食事を共にする。

26日

朝から「第四四二部隊」のストーリー構成をする。しかし、それを記録映画風にする以上、ストーリーの書き方もなかくむづかしい。夕方、トラちゃんと「山を飛ぶ夜星」を見に出かけたところフランス映画の「狂恋」に替つてみて、甚だ退屈する。

27日

朝からすわる、トラちゃん、大井、□を付け替えに来てくれる。お正月の餅を一郎君ついで来てくれる、四枚。牛肉三百匁（690）を白井からとつて届ける。仕事二時まで頑張る

28日

朝から仕事、トラちゃんから□□（16年から20年まで）を借りて調べて、小津君より電話あり、明日あふ^マ筈にする。

29日

仕事、大半約五十枚出来、出社、小津君月森氏と月ヶ瀬であつて呑む。ポンちゃんと同席。バスで帰る。正月七日お能へ行くことを約す。東宝^マからのもの受取る。

30日

朝からシノプシスを書く、玲子清書してくれる。大原さんから電話あり、夕方トラちゃんに頼んで60,000取つて来てもらふ、夜半書きつづけ、二時半になる。

31日

玲子、朝会社へシノプシスを届けてくれる。駒姉に書留1000あげ、フトンを張つてもらふ、午後、静子陽子と上京、静子のメガネを買ひ、子供たちのマフラなどを求め、魚河岸に行き、カブキの□ですしをたべ、銀座で□□の人たちに会ひ、八時帰宅

【註：以下は、余白ページ以降に記されたメモ】

マージャンー□がいかれる

—池へ叩きこむ

窓際へすわると□がかえる

夜は□□と読まぬ

王将、わが生涯の輝ける日、手をつなぐ子等、酔ひどれ天使、生ける□□。

日大 245—五月より（1715）7ヶ月

鎌大 479—11ヶ月（5269）

放送局8500の内、税1245——8229

40万—25680円 85年満期

第一生命保険相互会社

一万円—578円

日新生命保険相互会社

明治35年9月25日、生 野田静

箱根行 アタミ バス

十国越え

8.00 9.00

10.00 12.30

14.30 16.30

横須賀→館山

7.00→10.00

館山→横須賀

2.00 5.00

浦賀 館山

1.00→3.00

館山 横須賀

8.00→10.00

方言の研究（玉城肇著）神田神保町内刀江書院 250

新歳時記（□子編）450 神田三省堂

胃薬（一ちやん処方）

ノルモザシ 1.0

□製マグネシア 0.5

ロートエキス 0.06

重曹 5.0

デルマトール 1.5

（一日量 分三）

胃潰瘍注射薬 イスウルクス

男性ホルモン ヒポホリン

（帝国臓器）

低血圧注射（皮下）

インテレニン

「□切つて損なし」

「□□□□見逃すな」

静 35.9.25

玲 11.8.5

陽 13.5.14

一回 1万3千700円

二回 1万3千500円

三回 1万3千500円

13万円として――

152千（鎌倉）野田駒

（江橋氏呼立）

213千（□□）丸山

西洋洗濯

日本言語研究会編著

語源

解説 俗語と隠語 定價100

円10

千代田区神田小川町3

岩国書房

関よしこ 母

つね 妹（上）23

【註：以下、「M e m o」欄に記載されたもの】

Memo

方法論

昭23.11.13 写真450枚

〃 〃 1ヶ、検印紙2000枚

印税ノコト 通知ナシ

□□□第一稿残□

雨宮 馬場 井上 富田 小松

飯田 菊地 山内 小宮

杉山 □□□ 木村 斉藤武

橋田 青野

永江 足立 沢村 江□ 桜井

(内、井上、斉藤武——助監督部入り)

止血鉗子、

公共職業安定所

1.「西郷さん」を見る

1. □□云々

1. 戦災をうけた町

1. 京都「焼跡ばかりで」

大磯町□□□ 宮田保

茅ヶ崎市本村■■■ 津路嘉郎

北多摩郡谷保村国立東区■■■の■■ 地森 明

「昨夕のニュース聞いたら、お前んとこ洪水□云つてさ、□□□のなんとかって川が氾濫してさ、お前んとこの材木みんな流されちやつたつて。」「すると××川かな。」「あ>□□□□□□」

タバコ10000

昭和二十二年九月 協会再発足

百円札で百万円数へるには約25分を要する。それが千円札になると、2分半ですむ。従つて出納能率は二三割□□る その合理化によつて市中銀行の貸出金利日歩二米八厘か二厘ほど下げられたるといふ事があるが、その半面には、千円札の□□は銀行員の整理を促すだろうといふ話もある。

東京都内で現在（24.9.7）絶対不足している住宅四十五万五千戸、四畳半二人三人はザラ。日赤で調べたところだと、一人当り一畳半といふのが一番多い。

犯罪実話と捜査研究 60 岩附一雄著

a 刑事捜査の研究 60 □藤□著

b 犯罪手口の研究 90 岩槻一雄著

c 賭博犯検挙要覧 70 光藤直人著

d 刑事鑑識の概要 50 岩槻一雄著

郵税 a d 5.00

b c 10.00

豊島区椎名町8の3957

警察時報社

口座 東京14の790

電、落合長崎 2725

仏蘭西演劇私観 辰野隆

250 □□□□

千代田区神田□□町6

日本文化の起源 野村□□ 150

千代田区神田駿河台1の5

静岡市□□町■の■ 高野三崑彦

文京区□□町■ 雨宮照子

茨城縣古川局□内江戸町■■ 江□豊

世田谷区池尻町■■ 英荘内 鷺尾三郎

神奈川県中郡国府村西久保■ 田辺俊次

22.5000 六月末

255000

□□5234

〔以上、1949（昭和28）年・了〕

野田高梧は、小津安二郎の監督第一作『懺悔の刃』（1927年）から小津の映画の脚本に関わっている。途中、抜けた時期もあるが、『晩春』（1949年）以降は小津が亡くなるまで、ともに脚本を執筆した。まちががなく小津の映画を支えたひとりである。

その野田高梧が何を考え、どのような記録を残していたのか。野田の手帳は、脚本家野田高梧を知り、野田と小津による脚本執筆の過程を知るために欠かせない資料となるだろう。

数年分をみたくざりでも、手帳には映画制作の記録や日常の覚書などが丹念に記されている。新・雲呼荘 野田高梧記念 蓼科シナリオ研究所の山内美智子氏、渡辺千明氏から詳細を伺い、私が以前別の作家の翻刻に携わったことも重なって、翻刻の機会にあずかった。以後、おふたりをはじめ多くの方の力を得て、順調に進められてきたことに感謝したい。

すべての手帳のうち、内容を確認できたのはまだ一部にすぎない。その中でも最近翻刻を終えた『麦秋』の脚本執筆時を例に、手帳の記録を紹介したい。

野田高梧の手帳は、小津が残した日記その他の記録と同様、執筆の過程をたどる手がかりとなる。たとえば、1951年1月24日のそれぞれの日記は、ふたりが意見の一致をみせ、脚本執筆が軌道に乗り始めたことを伝えている。発端は黒澤明の『白痴』であった。

小津も野田も『白痴』の脚本を評価せず、手厳しい。田中眞澄編『全日記小津安二郎』（フィルムアート社）から抜粋すると、小津は「白痴をよむ 訳わからず／登場人物の白痴なるは可なるも 脚色監督の白痴なるハ不可」と記している。一方、野田は「『白痴』を読む。よくわからず。それに反撥を感じたせい、夜、相談、わりに進む。」と記している。

さらに、野田の手帳には、小津が必ずしも残していない記録もある。1951年1月26日の記録を比較してみよう。

小津の日記には、「無為 脚本仲々に難渋なり」、29日に「夜 話少々進む 今度の脚本難渋なり」とある。この記述をみるかぎり、執筆は行き詰まっていたようだ。一方、野田の記述からは、ふたりがどのように話し合いを進め、検討していたのかを確認できる。同、26日には「今までの材料」を「配列してみることにし」、29日には「大和の老人上京の件、娘のクラス会カマクラ私宅」の件等、「ストーリー大方まとまつて」きた、とある。小津の記録に対して、野田の記録からは執筆の進展が窺える。

小津組プロデューサーを務めた山内静夫氏に伺ったことだが、小津も野田も、どのように脚本執筆を進めていたのかは明らかにしなかった。訪ねたときには山内氏を迎える準備が整えられ、仕事の道具は片付けられていたというのである。上にみた日記はいずれも、そうした表向きの顔とは別に、ときに「難渋」した執筆の現場を記録したものとして価値がある。今後の調査から明らかになることもあるだろう。読解と精査を重ねてゆきたい。

宮本明子

付記 本研究は同志社女子大学2020年度研究助成「戦後小津安二郎監督作品における脚本生成過程研究」の助成を受けました。